



## 生田高校 第55回卒業式 校長の言葉

神奈川県立生田高等学校第55回卒業式を挙げるにあたり、多くのご来賓の皆さまにご臨席を賜り、心よりお礼申し上げます。

保護者の皆様、本日は誠におめでとうございます。担任の呼名に応じて凛々しく立つお子様の姿をご覧になり、感慨もひとしおのことと存じます。心よりお喜び申し上げます。これまで、本校の教育活動を支え、温かく見守ってくださったことに、全職員を代表して深く感謝申し上げます。

また、日ごろ、本校の教育活動にご理解とご支援を賜っております、同窓会、PTA、地域の皆様をはじめ、関係の皆様にも、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

55期の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんが生田高校で過ごした日々を振り返ると、学び、悩み、成長を重ねてきた姿が目には浮かびます。この新たな旅立ちの日を迎えた皆さんに、心からの祝福を贈りたいと思います。

皆さんは生田高校の校訓「自由と規律」のもとで、人格を形成してきました。真の自由とは、自分の行動に責任を持つ姿勢です。そして規律とは、単なるルールへの従属ではなく、社会の中で他者を尊重し、自分自身を律する力、そして目標に向かって努力する姿勢を指します。自由を実現するためにはこの規律が欠かせません。この両方を育むことで形成される人格こそ、生田高校が大切にしてきた教育の柱です。この校訓は、単なる言葉ではなく、皆さんの心の中に深く根付いているはずです。

17世紀のイギリスの哲学者ジョン・ロックは「自由とは何をする権利かではなく、何をすべきかを知る能力である。」と述べています。何が正しいかを自分で考え、選び取る力こそが本当の自由です。これからの人生では、多くの選択を迫られる場面が訪れるでしょう。その時、誰かに与えられる自由ではなく、自ら勝ち取る自由を追求してください。そしてその自由の中で、自らを律し、正しい道を歩むことを忘れないでください。

私たちは今、不確実性が高く、正解が必ずしも存在しない時代を生きています。AIやテクノロジーの進化によって多くの課題が解決されつつある一方で、新しい課題や倫理的な問題も次々と生まれています。この変化は避けられない現実ですが、だからこそ「人間らしい力」が求められる時代です。「人間らしい力」とは他者を尊重し、社会の中で共に生きるために正しい判断をする力です。AIは膨大な情報を処理することが得意ですが、その情報から何が正しいかを選び取るのは人間の役割です。AIがどれほど進化しようとも、人間の感性や倫理観、そして「自由と規律」に基づく判断力は決して代替されることはありません。AIが進化し続ける時代だからこそ、皆さん一人ひとりの「人間らしい力」が社会をより良いものへと導いていくのです。

これからの世界は皆さんの手に委ねられています。これから先、どんな時代になろうとも、「自由と規律」を基盤にした「人間らしい力」を発揮してください。その力は、皆さんの人生を豊かにし、そして社会をより良いものにする原動力となります。皆さんが未来を切り開く姿を見ることを楽しみにしています。

改めて、これまでの努力を称え、皆さんの未来が希望に満ちたものになることを心から願い、卒業式の言葉といたします。卒業おめでとうございます。

令和8年3月2日 神奈川県立生田高等学校長 野田 麻由美